



天文学の扉を開こう

7月の夜空

木星と土星が見ごろに

今月の14日には木星が、ちょうど1週間後の21日には土星が、相次いで「衝」を迎え、観測シーズンが到来します(写真:ぐんま天文台ボランティア・今泉敦志さん撮影)。

衝とは、地球から見て、惑星が太陽と正反対の方向に来る瞬間のことです。この頃には、地球と惑星との距離が近くなるため、見かけの大きさが大きくなり、明るく見えるようになります。木星はマイナス3等級、土星は0等級で、夜半前の南東の空にとっても明るく輝いて見えます。

望遠鏡で木星を見ると、その表面には何本かの縞模様が見えます。また、「大赤斑」という赤みがかかった点のような模様が見えることもあります。木星本体から少し離れたところには、発見した天文学者の名前をとって「ガリレオ衛星」と呼ばれる4つの衛星が、光の点のように見えます。

美しい環がある土星は、ぐんま天文台の天体観望でもとても人気のある惑星です。実は、木星、天王星、海王星にも薄くて細い環があるのですが、地上の望遠鏡ではっきり環を捉えられるのは土星だけです。土星は約30年で太陽の周りを1周していて、土星の環は半分の約15年周期で開き方が変化します。直近では2017年頃に環が最も開いていましたが、開き方が年々小さくなっていて、2025年には環が消えてしまいます。次に環が大きく開いて見えるのは2033年頃ですから、今のうちに、美しい環を持った土星を見ておきたいですね。

新型コロナウイルスの影響で、ぐんま天文台の大型望遠鏡を使った夜間の天体観望は、しばらく見合わせが続いていますが、今後段階的に活動を再開していく予定です。

天体観望が再開されたら、ぜひ木星や土星を見に来てください。詳しくは、ぐんま天文台のホームページ(<http://www.astron.pref.gunmma.jp>)まで。

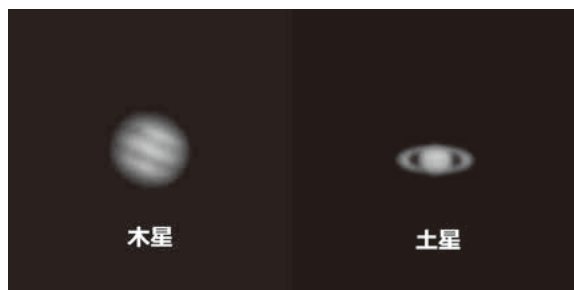


7月のぐんま天文台

- ・段階的に開館中。詳しくはホームページでご確認ください。

○星図の説明

7月15日午後9時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも同じ星空になります(「月」を除く)。



リトルミュージアム

かさ時計を作りました！



ごとう さえら ちゃん
「大きくなったら、「アイスクリーム屋さん」
になりたいです！」



いしざか るい ちゃん
「大きくなったら、「ハムスター」になりた
いです！」



こばやし ゆいと くん
「大きくなったら、「ポケモンのミュウ」に
なりたいです！」

♪高山村の情報♪

○Free Wi-Fi 設置

高山村でFreeWi-Fiが使えるようになりました！
お越しの際にはぜひご利用ください。

SSID : muranowifi
PASS : 0279632111



こちら「11代目緑のふるさと協力隊」



note



instagram

日々の活動内容を
投稿しています。

私が協力隊の活動を始めて約1カ
月が経ちました。活動の多くが農作
業なので、よく眠れます。家に帰って
ご飯を食べて寝る生活。ほぼ強制的に
早寝早起きになりました(笑)
いろんな農家さんでお手伝いをさ
せていただく中で、自分も畑で何か作
ってみたいという思いが膨らんでしま
した。現在、近所の方や活動先の方々
に協力いただき自分の畑を作っていま
す。ピーマン、トマト、なす、ズッキ
ー、とうもろこしなどを作っていま
す。ど素人なので、マルチシートは雑
草防止のためということも知らない
ところからスタートでしたが、なんと
かやっています(笑)
自分の畑で作業していると、畑に
愛着がわいてきます。足袋でフカフカ
の土の上を歩くことは本当に心地よ
くてめっちゃ好きです。
さて1カ月経って自分の中で変化
したことを記します。
①ムシ耐性が10倍上がった。
カメムシやテントウムシなどと家
の中で再三目撃することや、農作業中、
耳元に飛んでくる虫の羽音を繰り返し
聞くことによって、以前まで耳元に
来た虫などをビビって振り払ったりし
ただけ、ある程度はビビらなくなり
ました(笑)
②生活にメリハリがついた。
たくさん動き、いっぱい食べ、ぐっ
すり寝る生活で以前に比べテキパキ
動けるようになった気がします。以前
はだらだらしながらスマホゲームに時
間を使うこともありましたが、今は
ゲームする時間があれば畑に行こう
という気持ちになります。
この②につながることを少し記し
ます。コロナもだんだん収まってきて、
いぶき太鼓の練習の時や家にいるとき
など、子どもたちと接する機会が増
えてきました。子どもと接する中で
思うことは、子どもたちが本当に元
氣だということです。いぶき太鼓でた
くさん太鼓を叩いた後の短い5分休
憩で、鬼ごっこをしている子どもたち
をみて「正気か」と思いました(笑)
でも、子どもたちに誘われて鬼ご
っこに混ざってみるとバテはするけど
案外走れることにも気づきました。
子どもたちのように、目の前のこ
とをたとえ遊びでも、一所懸命にやる
ことは大切なことだと感じました。何
事にも一所懸命に取り組む、寝るとき
は寝る。そんなメリハリのある生活を
維持しながら、頑張っていこうと思
います！